



## 2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日  
上場取引所 東

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社  
 コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寄本 晋輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	53,673	20.9	1,340	43.5	1,238	40.9	640	74.1
2022年8月期第3四半期	44,399	18.7	934	105.0	879	240.5	367	△20.0

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 596百万円 (26.4%) 2022年8月期第3四半期 471百万円 (△3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	49.70	49.41
2022年8月期第3四半期	27.97	27.80

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	28,709	8,407	28.1
2022年8月期	23,249	7,853	32.4

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 8,054百万円 2022年8月期 7,536百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年8月期	—	0.00	—		
2023年8月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	18.3	2,500	32.4	2,350	31.2	1,240	27.9	96.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	13,427,550株	2022年8月期	13,335,620株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	496,530株	2022年8月期	483,653株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	12,890,557株	2022年8月期3Q	13,155,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業展開するリユース業界は、今後も継続的な成長が見込まれており、2021年のリユース市場規模は前年比11.7%増の2兆6,988億円となりました。また、2025年にはその市場規模は3兆5,000億円に到達すると見込まれております。(出所：株式会社リフォーム産業新聞社「リユース業界の市場規模推計2022(2021年版)」(2022年9月))

当社グループは、地球環境も含めた持続可能性を高め中長期的な競争優位性を確立することが必要不可欠であるという認識のもと、「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに設定し、2030年に「Circular Design Company」の実現を目指しております。

2020年10月に、2025年8月期を最終年度とする中期経営計画「VG1000」を策定・発表しておりましたが、同計画2年目となる2022年8月期の終了にあたり見直しを行い、「VG1000 ver2.0」として、2022年10月に新たに発表いたしました。既存のCtoBtoBモデルのグローバル展開、グローバルも含めた小売の強化、顧客・パートナーとの関係強化によるリカーリング型ビジネスへの転換を戦略とし、事業を推進してまいります。なお、現中期経営計画の対象期間は、2026年8月期以降の飛躍に必要なあらゆる機能の実装・充実化を進める投資期と位置付けておりますが、投資は行いつつも利益成長も遂げていく計画としております。

2023年8月期は、特に人への投資を重点的に行う年と位置付けており、新規出店の再加速と事業拡大のための人員拡充に加え、従業員の能力向上、スキル習得等、積極的な人への投資を行う計画です。

上記計画に基づいた事業活動の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	44,399	53,673	9,274	20.9%
営業利益	934	1,340	406	43.5%
経常利益	879	1,238	359	40.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	367	640	272	74.1%

買取面においては、新規出店及びWEBマーケティング等による効率的な集客拡大に向けた取組を展開いたしました。また、更なる仕入拡大に向け、他業種とのアライアンスによる効率的な買取等も強化しております。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における仕入高は40,689百万円(前年同期比4,314百万円増、同11.9%増)となりました。

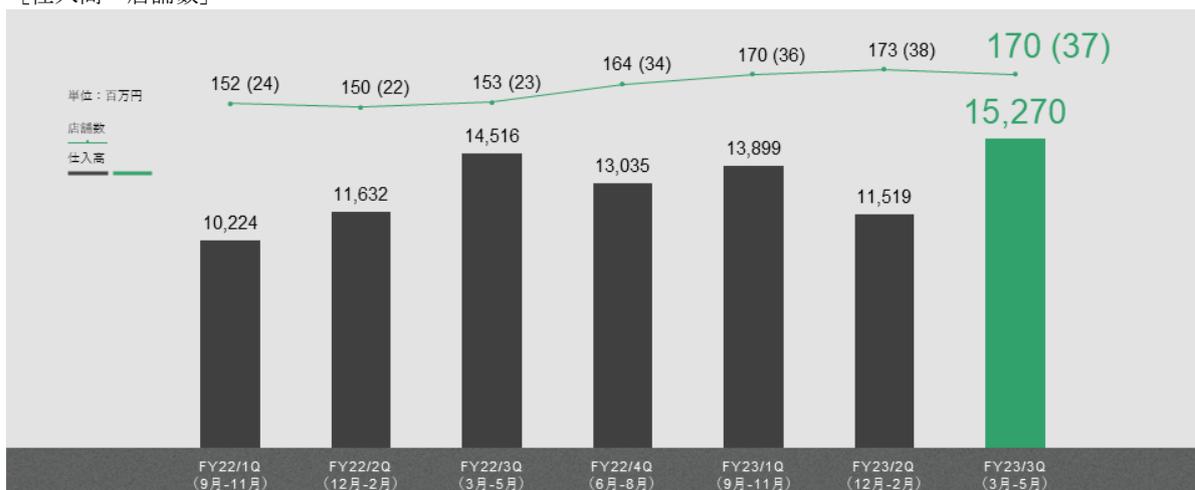
出店戦略については、新規出店や店舗移転を推進し、より利便性の高い店舗網を構築するとともに、不採算店舗については退店を行うなど、店舗効率の最大化を進めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の買取店舗数は、国内133店舗、海外37店舗となりました。

また、当第3四半期連結会計期間の仕入高は、15,270百万円(前年同期比753百万円増、同5.2%増)と過去最高を更新いたしました。2022年2月をピークに下落基調で推移していた時計相場が下げ止まり回復基調になったことや、金相場が高値を更新したこと等により、時計や地金を中心に好調に推移いたしました。

なお、上記の仕入高には株式会社米自動車の仕入高実績を含めておりません。

仕入高・店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[仕入高・店舗数]



※1 店舗数には海外店舗も含む。( )はそのうちの海外店舗数。

※2 FY23/3QからPL連結した株式会社米自動車の仕入高実績は除く。

販売面においては、自社オークション「STAR BUYERS AUCTION (以下、「SBA」という。)」をはじめとした各販売チャネルの売上高が順調に推移いたしました。

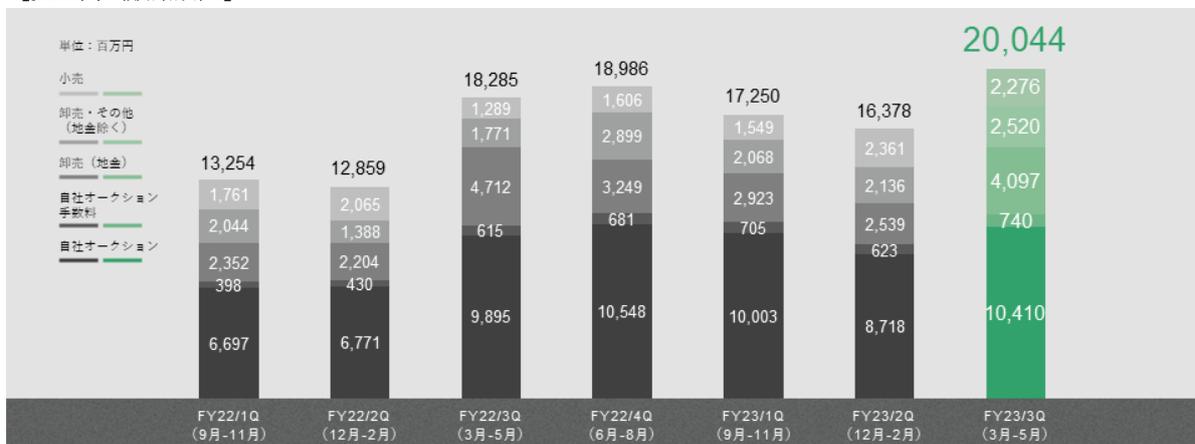
国内だけでなく海外パートナーが数多く参加している、ラグジュアリー品に特化したグローバルプラットフォームとしてSBAが認知されてきた結果、当第3四半期連結累計期間の自社オークション売上高は29,132百万円(前年同期比5,768百万円増、同24.7%増)となりました。また、委託出品手数料の無料化継続に加え、2023年3月からSaaS型新機能の提供を開始したことにより、自社オークションにおける委託落札額が伸長し、当第3四半期連結累計期間の自社オークション手数料売上高は2,068百万円(前年同期比623百万円増、同43.2%増)となりました。

小売施策としては、2022年12月に「ALLU心斎橋店」をオープンしたほか、個人向けオークションである「ALLU AUCTION」を2023年1月より四半期毎に開催するなど、顧客との関係性深化及びALLUブランドの認知向上を図ることで小売強化に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間の小売売上高は6,186百万円(前年同期比1,069百万円増、同20.9%増)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間の売上高は、20,044百万円(前年同期比1,758百万円増、同9.6%増)と過去最高となりました。仕入が好調に推移したことにより各チャネルの売上が増加し、自社オークション売上高は10,410百万円(前年同期比515百万円増、同5.2%増)、小売売上高は2,276百万円(前年同期比986百万円増、同76.5%増)となりました。加えて自社オークション委託落札額も大きく伸長し、自社オークション手数料売上高は740百万円(前年同期比124百万円増、同20.2%増)となりました。

売上高(販路別)の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高(販路別)]

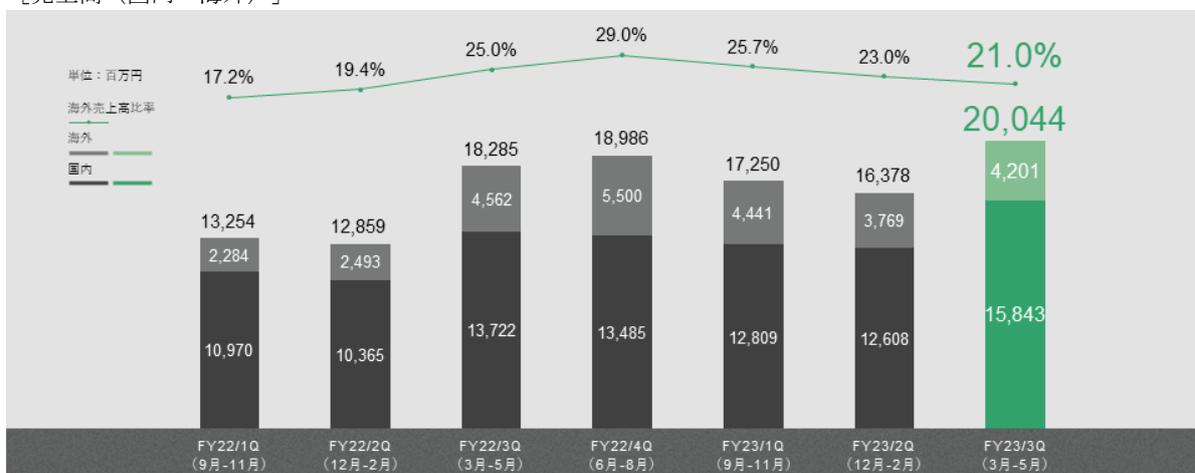


※ 株式会社米自動車の売上高は卸売・その他(地金除く)に含む。

当第3四半期連結会計期間においては、インバウンド需要回復から小売売上高や国内パートナーの自社オークションでの落札額が増加したこと等により、国内売上高は15,843百万円（前年同期比2,120百万円増、同15.5%増）となりました。また、海外売上高比率は21.0%と高い水準で推移いたしました。

売上高（国内・海外）の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高（国内・海外）]



当第3四半期連結累計期間における売上総利益率は、26.8%（前年同期比0.9ポイント増）となりました。前第3四半期連結累計期間に比べ卸売（地金）の構成比が下がったことに加えて、インバウンド需要回復による小売売上高や自社オークション委託落札額の伸長により、大きく回復いたしました。

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、資金調達による現金及び預金の増加879百万円や、株式会社米自動車の子会社化の影響を含めた商品の増加2,248百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて3,463百万円増加し、20,267百万円となりました。固定資産合計は、販売店舗の新規出店・本社移転等に伴う有形固定資産の増加989百万円、株式会社米自動車の子会社化に伴うのれんの増加666百万円、システム開発に伴うソフトウェア及びソフトウェア仮勘定等のその他無形固定資産の増加400百万円等により、前連結会計年度末に比べて1,996百万円増加し、8,441百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて5,459百万円増加し、28,709百万円となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、資金調達による短期借入金の増加498百万円、1年内償還予定の社債の増加200百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加463百万円があったほか、新オフィスのフリーレント契約による未払費用の発生等、その他流動負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて1,544百万円増加し、15,864百万円となりました。固定負債合計は社債の増加700百万円、長期借入金の増加2,327百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて3,362百万円増加し、4,437百万円となりました。これらの結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4,906百万円増加し、20,301百万円となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金の増加319百万円があったほか、新株発行による資本金及び資本剰余金の増加242百万円等により、前連結会計年度末に比べて553百万円増加し、8,407百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想につきましては、2023年4月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,807,795	8,687,281
売掛金	605,782	593,583
商品	6,329,008	8,577,671
未収消費税等	1,378,773	1,331,515
その他	959,575	1,397,519
貸倒引当金	△276,876	△319,938
流動資産合計	16,804,058	20,267,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,149,422	3,002,793
その他（純額）	697,049	832,747
有形固定資産合計	2,846,472	3,835,540
無形固定資産		
のれん	—	666,242
その他	852,375	1,252,609
無形固定資産合計	852,375	1,918,852
投資その他の資産		
関係会社株式	265,142	260,621
差入保証金	1,604,581	1,472,940
その他	877,876	954,270
貸倒引当金	△806	△297
投資その他の資産合計	2,746,795	2,687,535
固定資産合計	6,445,643	8,441,928
資産合計	23,249,702	28,709,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	244,150	341,265
短期借入金	11,900,793	12,399,088
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	88,440	551,667
未払法人税等	395,198	124,410
賞与引当金	256,992	358,240
資産除去債務	166,864	72,307
その他	1,267,925	1,817,408
流動負債合計	14,320,364	15,864,386
固定負債		
社債	—	700,000
長期借入金	306,090	2,633,509
資産除去債務	585,770	877,719
その他	183,508	226,149
固定負債合計	1,075,369	4,437,377
負債合計	15,395,734	20,301,764
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,146,335	1,219,780
資本剰余金	1,256,619	1,425,798
利益剰余金	5,602,463	5,921,868
自己株式	△668,240	△668,432
株主資本合計	7,337,177	7,899,014
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	199,386	155,342
その他の包括利益累計額合計	199,386	155,342
新株予約権	317,403	353,439
純資産合計	7,853,967	8,407,796
負債純資産合計	23,249,702	28,709,560

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	44,399,431	53,673,711
売上原価	32,893,402	39,272,480
売上総利益	11,506,028	14,401,230
販売費及び一般管理費	10,571,875	13,060,686
営業利益	934,153	1,340,544
営業外収益		
受取利息	62	267
デリバティブ評価益	4,990	2,420
助成金収入	3,000	14,058
その他	16,925	16,102
営業外収益合計	24,979	32,848
営業外費用		
支払利息	44,769	56,761
為替差損	11,145	41,658
持分法による投資損失	18,789	4,521
その他	4,871	31,527
営業外費用合計	79,576	134,469
経常利益	879,556	1,238,923
特別利益		
債務免除益	—	95,870
特別利益合計	—	95,870
特別損失		
減損損失	59,016	165,015
事務所移転費用	—	63,335
特別損失合計	59,016	228,350
税金等調整前四半期純利益	820,540	1,106,443
法人税、住民税及び事業税	482,713	507,742
法人税等調整額	△30,161	△42,003
法人税等合計	452,552	465,739
四半期純利益	367,988	640,704
親会社株主に帰属する四半期純利益	367,988	640,704

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	367,988	640,704
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	103,989	△44,044
その他の包括利益合計	103,989	△44,044
四半期包括利益	471,977	596,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,977	596,659

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、株式会社米自動車の全株式を取得したことに伴い、新たに同社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したVALUENCE INTERNATIONAL MEA TRADING L.L.Cを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。